

押出成形板「メース」緑化工法を開発・実用化 ～デザイン性豊かな壁面緑化を実現～

三菱マテリアル建材株式会社（本社：東京都中央区、社長：稲葉好則）と田島緑化株式会社（本社：東京都千代田区、社長：浅井孝治）は、コンクリート素材の押出成形板「メース」の緑化工法「メースリブグリーン工法（仮称）」を共同開発し、4月より発売を開始致します。

押出成形板「メース」は、押出成形法の特徴を活かし、個性的な意匠と高耐久性の外壁材として、これまで様々な建築物に採用されています。また、地球温暖化問題への関心の高まりやヒートアイランド対策の一環として都市部における建築物壁面の緑化が注目を集めています。

しかし、従来の緑化工法の中には、うまく植物が活着しないケースや灌水機能が十分でなく枯死するケース、或いは緑化資材の落下事故などの問題点も散見されております。

今回開発した「メースリブグリーン工法（仮称）特許第4472774号」は、これらの問題を解消した押出成形板の緑化工法として以下のような特徴を有しています。

- 1) 押出成形板「メース」の凹凸と金属メッシュを組み合わせた緑化工法で緑化が完成する前でもデザイン性に優れています。
- 2) 付着根型の植物は、押出成形板のリブ状の凹凸部を利用して登っていき、巻きツル型の植物はステンレスメッシュに絡ませながら登っていきます。
- 3) 押出成形板「メース」板の1枚ごとにステンレスメッシュを設置し、パネルの両サイドにLアンクルが設置されるため植物の伸長を制御することができます。
- 4) また、前述のLアンクルを設置することにより目地部のコーキングが植物によってふさがれないため定期的なコーキングの打ち換えが可能になります。
- 5) 別途開発した石張り工法「メースハイブリッド工法」との組み合わせにより、石張り緑化の組み合わせも可能となります。
- 6) 施工価格は、¥35,000/m²（設計価格）（植栽費は別途）



メースリブグリーン工法（仮称）
試験施工写真

三菱マテリアル建材株式会社及び田島緑化株式会社では、当面、関東地区1都3県（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）から、「メースリブグリーン工法（仮称）」によるご提案活動を開始し、普及に努めてまいります。

このプレスリリースに関するお問い合わせ先

田島緑化株式会社 営業部 担当:石井宏美 TEL 03-5822-2501

2011年3月30日
三菱マテリアル建材株式会社
田島緑化株式会社